

# 火山灰を知ろう！

【遺跡に残る巨大地震・巨大噴火の痕跡】

現在、私達が暮らしている鹿児島県は日本でも有数の火山地帯で、北から霧島、始良カルデラ、桜島、阿多カルデラ、池田カルデラ、開聞岳、鬼界カルデラ、硫黄島などのたくさんの火山があります。これらの火山は旧石器時代から縄文時代にかけて活発な火山活動を繰り返し、当時の鹿児島に住んでいた人たちに大きな影響を与えてきました。そして、それらの痕跡は遺跡の地層から見る事ができます。

荒園遺跡、永吉天神段遺跡では、巨大噴火の前に起こった地震による液状化現象が、「噴砂」として地層に残っています。



噴砂の痕跡が見られる地層剥ぎ取り（荒園遺跡）

# 河口コレクション

河口コレクションは、長年、鹿児島県の考古学界をリードしてきた考古学者、河口貞徳氏（1909～2011）が調査した遺跡の記録や、考古資料のことです。

河口氏は昭和20年代から約60年間にわたり、多くの遺跡を発掘し、遺物の時期や生活内容の解明を進めてきました。

その貴重な資料は、御遺族の御厚意により、まとめて県立埋蔵文化財センターへ河口コレクションとして寄贈していただきました。

平成27年度は、上加世田遺跡（南さつま市）や山ノ口遺跡（錦江町）の軽石製品などの実測を行いました。



【次回企画展のお知らせ】 第47回企画展 近代化の一翼を担った薩摩焼～その技術と伝統～  
平成28年11月25日(金)～平成29年3月20日(月・祝)

上野原縄文の森 第46回企画展

新発見！

# かごしまの遺跡2016

発掘速報展

企画展データファイル 46

2016.7.15～2016.11.13

お問い合わせ



(公財)鹿児島県文化振興財団  
上野原縄文の森  
〒899-4318  
鹿児島県霧島市国分上野原縄文の森1-1  
TEL 0995-48-5701 FAX 0995-48-5704  
URL http://www.jomon-no-mori.jp  
E-mail uenohara@jomon-no-mori.jp

平成27年度に発掘調査や整理作業を行った25遺跡及び報告書を刊行した8遺跡の中から最新の情報を紹介しています。

集成館事業の一環として、薩摩藩が文久3(1863)年に建設した「敷根火薬製造所」跡や、田原迫ノ上遺跡の弥生時代の住居跡から多数出土した「山ノ口式土器」など、注目される成果を紹介しています。

## 江戸時代の調査成果

【敷根火薬製造所跡（霧島市）】

江戸時代の終わり頃(約150年前)に、鉄砲や大砲などに使う火薬を製造した場所です。水車の力を利用して石臼を動かし、火薬の原料を粉にしていました。

調査の結果、当時では最新かつ最大級の火薬製造工場跡で、石垣や水車への導水路、火薬の原料をすりつぶしたと考えられる石臼などが発見されました。



導水路



導水路跡

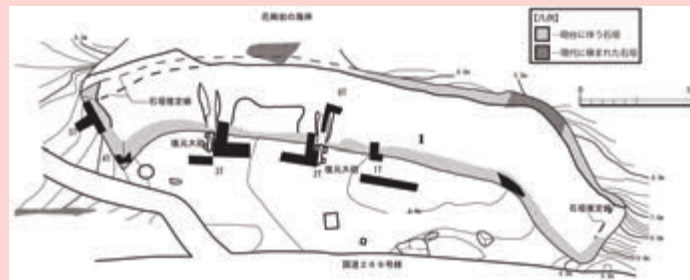


使用されていた石臼

【根占砲台跡（南大隅町）】

江戸時代の終わり頃、日本の近海に現れ始めた西洋の国々の攻撃から薩摩を守るために、鹿児島湾の海沿いに造られた砲台の一つです。

今回の発掘調査の結果、攻撃を防ぐためにつくられた石垣が良好な状態で残っていることがわかり、その石垣の積み方や大砲をのせた台座の痕跡などもわかってきました。



根占砲台跡 配置図



現在の様子

展示資料  
データ

遺跡数	展示資料数	展示パネル数
27遺跡	219点(一括展示含む。)	143枚



## 鎌倉・室町・戦国・安土桃山時代の調査成果

### 【永吉天神段遺跡（大崎町）】

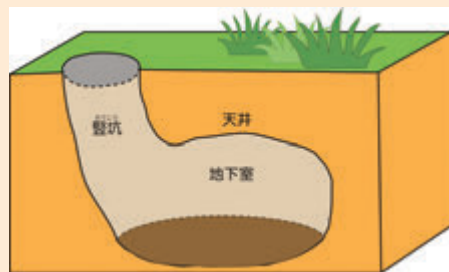
中世（戦国時代）の大型土坑（地下式の穴）が10基発見されました。

下に向かって竪穴を掘り（竪坑）、その後横に向かって地下室を掘っています。なかには、縦横が2m以上、深さが3m以上の大型のものもあります。九州では福岡、佐賀、大分、熊本県で数多く発見されていますが、鹿児島県内では初めてです。

用途としては、①死者を葬るための墓、②僧が自ら土中に埋まり、死ぬための場所、③物を保管する貯蔵施設、④身を隠すための避難施設等が考えられますが、謎が多い土坑です。



出土遺物



大型土坑の模式図

### 【高野木遺跡（大崎町）】

瓦質土器や薩摩焼が入った江戸時代の土坑（穴）が見つかりました。さらにその下からは、中世の畑跡が長さ50m（幅20m程）にわたって見つかりました。川内川沿いで農業をしながら暮らす人々の様子が思い浮かびます。



瓦質土器



犬形土製品



畑跡

## 大和・飛鳥・奈良・平安時代の調査成果

### 【不動寺遺跡（鹿児島市）】

平安時代（約1,100年前）の掘立柱建物跡や、庭園に水を引きこんだ跡や池のような跡が見つかりました。

また、地面に掘られた穴（径60cm×56cm）の中から、平安時代の土製の甕5個と皿15枚が埋められた状態で発見されました。皿は甕の中に入っていたものもあり、蓋として使われていたのかもしれない。



不動寺遺跡の出土遺物 鹿児島市教育委員会

## 古墳時代の調査成果

### 【春日堀遺跡（志布志市）】

古墳時代の中頃から終わり頃（約1,200～1,400年前）にかけての集落跡が発見されました。集落跡からは、竪穴住居跡9軒と溝状の遺構が2か所見つかっています。これらは、874年に開聞岳（指宿市）が噴火した時の噴出物である「紫コラ」と呼ばれる火山灰におおわれており、遺構や遺物の年代を決めるときの手がかりになりました。



春日堀遺跡の出土遺物

## 弥生時代の調査成果

### 【田原迫ノ上遺跡（鹿屋市）】

弥生時代中期（約2,000年前）の大集落の様子がわかってきました。

集落は大きく西側と東側の二つに分かれ、方形や大型の円形をした竪穴住居跡、棟持柱をもつ2棟を含む掘立柱建物跡、柱列や、円形や方形の形に掘られた溝、土坑などで構成されています。

土器は、甕や壺のほか、大型の壺も多く出土し、瀬戸内海沿岸で作られた土器もあります。また、住居跡内から出土した大型の金属などを研いた石（砥石）や台に使った石、土製の勾玉に加えて、土器を加工して作った円盤状の製品などがたくさん出土しています。

大隅半島の弥生人たちが、どのような生活をしていただのかを想像できる遺跡です。



集落の竪穴住居内から出土した土器

## 縄文時代の調査成果

### 【町田堀遺跡（鹿屋市）】

竪穴住居跡3軒のほか、土器埋設遺構12基、扁平な石斧12本をまとめて埋めた石斧集積等の遺構が発見されました。竪穴住居跡内からは儀式用と考えられる石刀、ヒスイで作られた装飾品、緑の石で作られた勾玉と管玉などが出土しました。他地域との交流の様子を伝える遺物として、貴重な発見となりました。

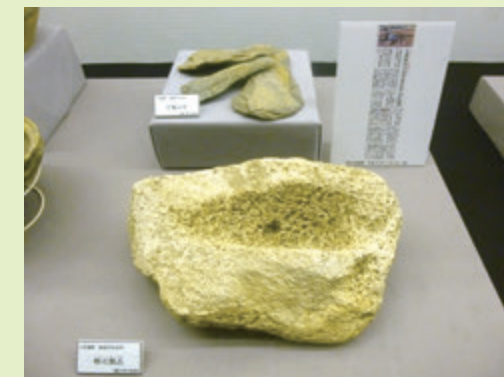


石斧集積

### 【小牧遺跡（鹿屋市）】

縄文時代後期（約3,000年前）の竪穴住居跡2軒や底がない状態で埋められた土器が発見されました。縄文人たちは何の目的でこれらの土器を埋めたのでしょうか？

また、大きな軽石製品も出土しました。片面の中央部を削って凹ませています。縄文人たちは、何の目的で作ったのでしょうか？ 謎がいっぱいです。



軽石製品をはじめとした出土品

### 【牧山遺跡（鹿屋市）】

縄文時代後期（約3,500年前）の土器や石器がドーナツの輪のように集中して出土し、その内側からは、掘立柱建物跡と考えられる柱穴群や、完全な形の土器が発見されました。県内では、今までに縄文時代晩期の（約3,000年前）掘立柱建物跡は見つかっていますが、後期の例はなく県内最古の可能性が考えられます。また、柱穴群の内側からは、祭祀（祭り・祈り）に使用したと考えられる石冠が1点出土しました。県内では、数例しか出土しておらず、とても貴重な発見です。



石冠をはじめとした出土品